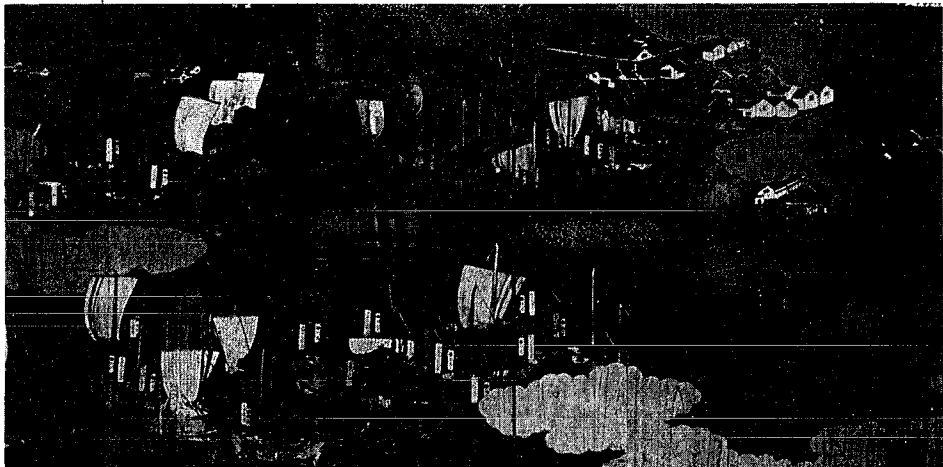
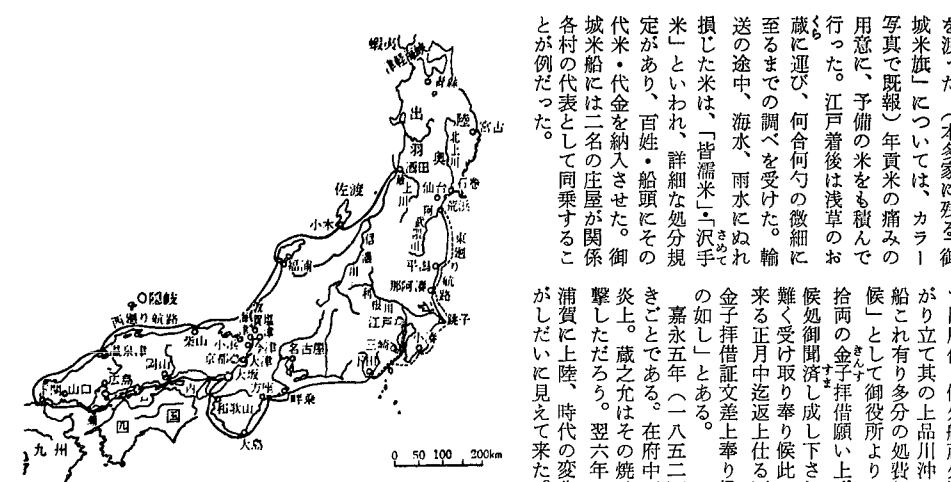


県文化財 新潟市白山神社大船絵馬 "新潟湊" 嘉永五年 井上文昌筆



寛政元年(一七八九)矢代田村は新発田藩領より幕府領となり、以来小須戸地内の唯一つの天領として、年貢米は直接、江戸へ送られた。日本海を基点として江戸へ到達する場合、先ず二つの航路が考えられる。津軽海峡を通る東廻りと、下関海峡を通る西廻り航路である。

江戸時代、幕府は、元和の初期新発田藩の年貢米は主に沼垂及び城下町新発田で銀に替えられたが、寛永・慶安に至ると、東廻り航路が盛んになると大阪で取引された。小須戸地内に例をきかれた。主に十一月、年貢米は信濃川の船道(船の通り道)という意味だけでなく、水運の系統や定法によって統制されていた(船方仲間)に依託して沼垂のお蔵へ納めた。



西廻り・東廻り海運図(古田良一「河村瑞賢」より)

# 町だより

## 天領矢代田年貢米 江戸へ行く

して、元禄期に飛躍的に発展した。元禄十年には年間の入港船船三五〇隻、四〇箇箇の船が集ったという。とくに江戸中期以後は、北海道や東北の物資を下関を廻って、瀬戸内海の諸港や大阪へ運ぶ船首のそのの大きい北前船(きたまえぶね)が、北海道特産のこんぶ・にしん、東北の材木、西國の木綿・塩・小間物

矢代田村庄屋本多蔵之允も嘉永五年と文久二年の再度にわたって江戸へ行っている。その一つの記録「私も儀御年貢当子江戸御蔵納めとして出府仕り候処船減り候がり立て其の上品川沖にて難船これ有り多分の処役相掛り候」として御役所より「金式拾両の金子拝借願い上げ奉り候処御開済し成し下され有り難く受け取り奉り候此の上は来る正月中迄返上仕る可く候金子拝借証文差上奉り候処件の如し」とある。

# 所得税の確定申告は 二月十六日からです



昭和五十五年の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十六日ですが、期限間近になりますと税務署はたいへん混雑しますので、なるべく早目に済ませましょう。所得税は、個人が一年間に得た所得に対してかかる税金です。確定申告をしなければならぬのは、次のような方々です。①事業をしている人、不動産収入のある人、土地や建物を買った人などで、昭和五十

これら税金の還付金を受けるための申告は、二月十六日前でも受け付けています。前年に確定申告をした人は税務署から申告書用紙などが送られてきますので、必ずその用紙で申告してください。ことし新たに申告をする人は税務署にお使いください。なお、サラリーマンの方が還付の申告をするときのために、簡易な申告書用紙ができましたのでご利用ください。税額の計算の仕方、申告書の書き方などでわからない点がありましたらお気軽に新津税務署におたずねください。

今月この暖房器具もストーブや温風ファン、こたつなどいろいろありますが、時代がさかのぼって江戸時代ともなると、せいぜい手あぶりの火ばちかいろり程度だったといわれます。家の造りからしてスキ間風にも悩まされたでしょうから現在に比べて、かなり寒い冬であったに違いありません。

## 2月10日(火) 交通安全家庭の日

雪が降ると、交通量が減少し、スピードが物理的に出せなくなるなどの要因から全体的には交通事故は減少しますが、逆に踏切事故は増加します。

## 2月は省エネルギー月間

### 空気を着よう シャツ一枚の効用

ところが、当時の人々は、重ね着をする、つまり多くの衣服を着ることによって体温を保持し、寒さをしのいでいたといわれます。シャツなどをたくさん着ると暖かくなる。だれでも知っている簡単な理屈ですが、意外に知られていないのが空気の役割です。つまり、重ね着をすることによって服と服の間に薄い空気の層ができますが、実はこの空気の層が体温を保つ上で大きな役割を果たしているのです。空気には、熱が伝わりにくい性質があって、これが保温効果を高めているわけですが、層とシャツ、シャツとYシャツ、Yシャツとチェック、チェックと上着——という具合に、それぞれの衣服の間にできる幾重もの空気の層が、体温をガッチリ守っているのです。

除雪のじやまになりませう! 路上駐車はやめまじよう!



室温は 18度に調整を 部屋を少し厚目にして、部屋の温度は十八度以上にしないことを目安に、こまめな温度調節を行います。